

# PRESS RELEASE

2017.10.6

一般社団法人静岡県信用金庫協会

## 第44回県内12信用金庫連携による合同景況調査結果

一般社団法人静岡県信用金庫協会（会長 御室 健一郎）は、平成17年10月以降、毎四半期ごとに県内12信用金庫連携による合同景況調査を実施しています。

各信用金庫が協力して取引先企業1,187社にアンケート調査を実施し、1,173から得た回答（有効回答率98.8%）をもとに、県内経済を支える地元企業を広く網羅して分析したものです。

静岡県信用金庫協会では、地域に密着した信用金庫ならではの情報提供を通じて地域に貢献し、信用金庫の存在意義を高めていきたいと考えております。

### 「県内中小企業等の景況感は改善、先行きの業況DIはプラス化」

#### 【概況】

平成29年7~9月の県内中小企業等の業況DI（企業の景況感を示す、「良い」とする企業割合から「悪い」とする企業割合を引いた数値）は、前回調査時（平成29年4月~6月「以下同」）の▲8.5から▲2.1へと6.4ポイントの改善となった（以下「マイナス幅の縮小」を「改善」、「マイナス幅の拡大」を「悪化」という）。

業種別にみると、小売業が▲1.6ポイント（▲28.7→▲30.3）の悪化、不動産業がプラス幅の縮小（15.5→8.4）がみられたが、建設業、サービス業のプラス化による大幅な改善など多くの業種で改善した。

これを地区別にみると、全地区で改善し、中部地区では業況DIがプラス化した。（地区別の詳細は次頁のとおり）。なお、各地区とも依然として人手不足感は強いものとなっている。

#### 県内合計及び地区別DIの推移（全産業）

	2015年		2016年				2017年			
	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12 (見通し)
東部地区	▲ 21.6	▲ 18.7	▲ 21.5	▲ 25.6	▲ 19.0	▲ 13.0	▲ 18.8	▲ 20.7	▲ 7.5	▲ 7.2
中部地区	▲ 11.6	▲ 7.0	▲ 18.4	▲ 22.7	▲ 7.3	0.6	▲ 10.4	▲ 2.7	4.4	5.7
西部地区	▲ 13.6	▲ 11.8	▲ 14.0	▲ 17.1	▲ 16.5	▲ 9.6	▲ 2.9	▲ 3.0	▲ 0.8	2.8
県内計	▲ 15.8	▲ 13.5	▲ 16.9	▲ 20.4	▲ 15.8	▲ 9.2	▲ 8.7	▲ 8.5	▲ 2.1	0.1

なお、平成29年10~12月の業況見通しは、東部ではほぼ横ばい（▲7.5→▲7.2）ながら、中部ではプラスを維持（4.4→5.7）、西部ではプラス化（▲0.8→2.8）と改善見通しとしていることから、県全体では▲2.1から0.1へのプラス化予想となっている。

## ■東部地区

東部では、不動産業が▲3.0 ポイント(3.0⇒0.0)、小売業が▲1.2 ポイント(▲33.7⇒▲34.9)と小幅であるが悪化したもの、サービス業は33.4 ポイント(▲31.5⇒1.9)、建設業は21.1 ポイント(▲17.5⇒3.6)、製造業は16.9 ポイント(▲11.9⇒5.0)とプラス化、また、卸売業は9.7 ポイント(▲25.8⇒▲16.1)と改善されたことから、全業種ベースにおける業況DIは前回調査時の▲20.7 から▲7.5へと13.2 ポイントの改善となった。

## 製造業

業況は、独自の技術力を有する企業、大手企業を取引先とする企業の受注は安定している。原材料価格の上昇や人手不足による残業時間の増加もあったが、売上、収益も増加したことから業況DIはプラス化した。

今後の見通し(平成29年7～9月期・以下同)としては、原材料価格が安定推移し、売上・収益も好調であることから改善を見込んでいる。人手不足は懸念材料である。

### (事業者の声)

- ・主要取引先(大手メーカー)の動きは活発で、受注は増加傾向。人材育成が問題である。 (大型機械部品加工)
- ・熟練の社員を雇用することで、売上は上昇している。 (酒類製造)
- ・オリジナル商品の開発により他社との差別化を図ることで利益率の改善に努めている。(冷水機・IHウォーマー)
- ・設計から製作・メンテナンスまで一貫して取り扱い、迅速な対応を心掛けることで差別化を図っている。(鉄鋼業)
- ・機械の老朽化により、不良品発生のリスクが増加している。機械の代替を検討している。 (紙加工業)

## 卸売業

業況は、仕入価格も上昇しているが、販売価格の上昇による売上の増加がみられ、改善となった。

今後の見通しとしては、売上は増加するも、販売価格は下降し収益は減少するが、年末にかけての期待感もあり、改善を見込んでいる。

### (事業者の声)

- ・小売業者の在庫調整等の影響で小口注文が増加している。 (食料品卸売業)
- ・古紙市場において、中国等東南アジアの需要が増加、国際商品化している。輸出増に伴い、為替の動向が市場に大きな影響を与えている。 (古紙卸売業)
- ・レジャー関連低迷につき、小売業者との情報交換が必須。 (釣具・レジャー用品卸売業)
- ・輸入製品との競争が激化している。 (アルミ箔加工卸売業)

## 小売業

業況は、仕入価格は上昇、販売価格への転嫁も対応しているが十分とはいせず、売上、収益とも厳しい状況であることから、小幅の悪化となった。

今後の見通しとしては、業界全般的に厳しい状況である。年末にかけた期待感と、販売価格への転嫁による売上、収益の増加で改善を見込んでいる。

### (事業者の声)

- ・大型スーパーとの競合があるなかでも地域に密着したスーパーとして、新鮮な魚介類や惣菜の質により差別化を図っている。 (食料品小売)
- ・従業員教育のため、外部講師のもと指導し、販売力向上に繋げている。 (宝飾品販売)
- ・バイクは10月以降値上げが予定されている。二輪車のETC割引プランのスタートに伴い、各地でイベントの開催が予定されている。 (二輪車販売)
- ・和装小物等への注目が一部で広がっており、関連商品の売上が増加している。 (衣料販売)

## サービス業

業況は、材料価格も上昇したが、料金価格への転嫁もあり売上、収益とも増加したことから大幅に改善となった。

今後の見通しとしては、今期の反動もあり、売上、収益ともに減少することから悪化を見込んでいる。人手不足は深刻な課題である。

#### (事業者の声)

- ・設備老朽化に伴う修繕費が収益を圧迫している。 (旅館業)
- ・雑誌・フェイスブック等での情報発信により客層の年齢に変化が生じた。 (釣り船)
- ・設備投資、各種イベントの開催により集客力の向上を図る。 (ドライブイン)
- ・取引先の廃業による売上の減少が予想され、いかにして新規先の取り込みを図るかが課題。(清掃用品リース業)
- ・求人するも応募なく、人手不足が深刻である。 (運送業)

### 建設業

業況は、材料価格の上昇や競争による請負価格の減少はあったが、売上、受注、施工、収益とも増加したことから改善となった。

今後の見通しとしては現状と大きな変化はないものの、小幅な悪化を見込んでいる。

#### (事業者の声)

- ・同業他社との競合は激しいが、既存顧客よりワンランク上級層へのアプローチを営業戦略の一つとしている。 (総合建設)
- ・代表者の長女が技術者として従事しており、女性の感性を活かしたデザイン・施工に期待している。 (造園施工管理業)
- ・太陽光部門は個人、事業用とも増加傾向である。経常的に人材不足である。 (建築板金業)
- ・各種地域貢献活動が事業へのプラスになっている。 (総合建設)

### 不動産業

業況は、同業者間での競争の激化により販売価格の下降もあり、小幅な悪化となった。

今後の見通しとしては、大型施設誘致による周辺地域の土地の動きに期待するところもあるが、全体として市場の動きが低調となる時期であり、売上、収益も減少することから悪化を見込んでいる。

#### (事業者の声)

- ・相続に伴う不動産売却相談が増加している。 (不動産賃貸業)
- ・市街化調整区域内の土地の売却案件が多い。 (不動産賃貸業)
- ・首都圏の顧客が地方の収益物件に興味を示している。 (不動産売買業)
- ・従業員の教育・訓練の強化を図っている。地域活動に積極的に参加することで、地域に根ざした企業を目指す。 (不動産仲介業)
- ・地区による人気のばらつきが顕著になってきている。 (不動産売買業)

### ■中部地区

中部では、不動産業が▲20.0ポイント(30.0⇒10.0)、製造業が▲8.8ポイント(11.9⇒3.1)のプラス幅の縮小、卸売業が▲16.8ポイント(▲9.5⇒▲26.3)と悪化したが、一方で、建設業が64.2ポイント(▲35.0⇒29.2)、サービス業が31.8ポイント(▲11.8⇒20.0)と大幅に改善しプラス化、更に、小売業が5.5ポイント(▲15.0⇒▲9.5)改善したことから、全産業ベースの業況DIは前回調査時の▲2.7から4.4へとプラス化した。

### 製造業

業況は原材料価格の上昇により収益性が悪化したことなどにより、業況DIのプラス幅が縮小した。

今後の見通しとしては、原材料価格の上昇は続くものの、売上、収益ともに増加を予想していることから、改善を見込んでいる。

### (事業者の声)

- ・原料高の懸念はあるものの受注は安定している。今後、売上増加が見込まれており大幅な悪化はない。  
(食品製造業)
- ・主要取引先からの受注は安定しており業況は安定。以前よりもづくり補助金等活用しながら、新製品の開発に注力している。  
(調味料製造業)
- ・減収減益に歯止めがかからない状況。  
(建具製造業)

### 卸売業

業況は、販売価格の上昇による売上の増加が見られるが仕入価格の上昇が大きく、悪化した。

今後の見通しとしては、仕入価格の上昇が続き悪化を見込んでいる。

### (事業者の声)

- ・世代交代に合わせ、新しい事業を考えたい。  
(日用品卸売業)

### 小売業

業況は若干の改善となったが、売上、収益ともに厳しい状況が続いている。

今後の見通しとしては、年末の消費拡大を期待し、売上、収益ともに大幅な改善予想からプラス化を見込んでいる。

### (事業者の声)

- ・業況は横ばいであり、当面は問題ない様子である。今後は新エリアへの出店も検討しており、出店先の調査、人員確保が当面の課題である。  
(スーパー)
- ・人手不足となる時間帯がある。  
(スーパー)
- ・商圈人口の減少は避けて通れない。多くの方に知ってもらえるよう広告宣伝に注力したい。  
(酒類小売業)
- ・従業員のモチベーションを高め、従業員と一体となって会社を作っていく。  
(スーパー)

### サービス業

業況は、売上、収益ともに大幅に増加しており、業況D Iもプラス化となった。一方、人手不足は大きな課題となっている。

今後の見通しとしても、売上、収益ともに増加を予想しており、業況D Iもプラスを維持する見込み。

### (事業者の声)

- ・人手不足、設備の老朽化等で不安を抱える一方、売上金額、収益は増加傾向である。人材の確保には深刻な問題がある。  
(自動車整備業)
- ・宅配サービスの受注が好調だが、人手が足りない。  
(飲食業)
- ・清掃業のためどうしても人手が必要となるが、必要人員の確保が非常に難しい。  
(清掃業)

### 建設業

業況は、売上、収益ともに大幅に増加しており、業況D Iもプラス化となった。一方、人手不足は大きな課題となっている。

今後の見通しとしては、売上は引き続き増加を見込むものの、材料価格の上昇による収益の悪化からプラス幅の縮小を見込んでいる。

### (事業者の声)

- ・昨年に比べ今期は大型受注を確保しており、利益確保が出来ている。継続受注できれば今後も堅調に推移すると思われるが業界の衰退により受注獲得は容易ではないと思われる。  
(建築工事業)
- ・従業員の高齢化が進行しており、若手の人材確保に努めたい。  
(土木・建築業)
- ・東京オリンピック後の業界動向に关心をもっている。  
(建設・土木工事業)

## 不動産業

業況は、販売価格が低下し、業況DIもプラス幅が縮小した。

今後の見通しとしては、売上、収益ともに増加を予想しており、改善を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・増税前の駆け込み需要もあり、売上は堅調に推移することが見込まれる。

(分譲販売)

## ■西部地区

西部では、不動産業、小売業が悪化、製造業のプラス幅が縮小したものの、建設業が15.0ポイント(▲12.5⇒2.5)、卸売業が12.6ポイント(▲11.3⇒1.3)、サービス業が10.2ポイント(▲6.1⇒4.1)とそれぞれプラス化するなど改善したことから、全産業ベースの業況DIは回調査時の▲3.0から▲0.8へと2.2ポイントの改善となった。

## 製造業

業況はやや悪化したものの、受注残や収益などが改善を見せたことから、業況DIは引き続きプラスを維持した。

今後の見通しとしては、売上や収益の増加など業況改善によるプラス幅の増加を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・大手自動車メーカーの主力車種の受注が好調である。 (自動車)
- ・親会社からの受注は順調である。 (楽器)
- ・受注はあるものの人手が不足、期日に間に合わせることで精一杯となっている。 (木材)
- ・売上は好調であるが今後の見通しは不透明、賃上げは厳しい状況である。 (繊維)
- ・原材料が上昇傾向にあり、収益性が悪化している。 (蒲鉾板製造、LED照明器具加工)

## 卸売業

業況は、販売価格が大きく上昇したことに伴い、業況DIはプラス化した。

今後の見通しとしては、販売価格の低下もあり、やや悪化を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・「直虎」関連商品の売れ行きは夏場も好調である。(土産)
- ・ビジネスフェアに積極的に参加するなど自社アピールに努め、販路拡大につなげようと試みている。(建築材料卸)
- ・住宅や家具等の需要の伸びが期待できないため、販路開拓を積極的に行ってている。 (木製品)
- ・仕入価格が上昇しているため、経費削減に努めている。 (建築資材、食品)

## 小売業

業況は、販売価格の低下により悪化となった。個人消費の回復は遅く、卸売業とは対照的に小売業の景況感は低迷している。

今後の見通しとしては、年末に向けて、販売価格の上昇による売上、収益の増加予想から改善を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・人口減少により地域経済の衰退に不安がある (ガソリン販売)
- ・ネット販売が定着しつつあり店頭販売は減少傾向にある。 (衣料品販売)
- ・節約志向の顧客が増え、消費を控えるようになってきている。 (職場ユニフォーム販売)
- ・不採算店舗を閉店するなど店舗の見直しをしている。 (飲食料品小売)
- ・新設の大型量販店の影響を受ける恐れがある。 (食品)

## サービス業

業況は、料金価格の上昇による収益の増加に伴い、業況DIはプラス化した。

今後の見通しとしては、年末に向けて、売上、収益ともに大きく改善し、引き続きプラス水準を見込む。

(事業者の声)

- ・受注は上昇傾向だが、人手不足を感じている。 (自動車整備)
- ・「直虎」効果により、宿泊客が増えている。 (宿泊)
- ・売上は前年度並みで推移しており、今期決算も黒字となる見込み。 (自動車整備)
- ・従業員の指導・教育が課題となっており育成について関心を持つようになった。 (販売業)
- ・顧問先に廃業が多くなっており、地域経済衰退を懸念している。 (税理士業)

## 建設業

業況は、年度後半の公共工事や民間工事を控え、受注残DIはプラス化した。

今後の見通しとしては、売上の増加により引き続きプラス水準を見込む。

(事業者の声)

- ・低金利の効果を受け、住宅新築の受注は好調である。
- ・地元大手住宅メーカーとの競争が激しいこと等により、受注状況は大変厳しいものとなっている。自社の業績が向上してこないと賃上げは厳しい。
- ・現場監督の人員不足は元より、業界全体の人員不足が経営上の問題点となっている。
- ・人材確保に向け学生向け職場見学やインターンシップ等を行っている。
- ・今期は工事受注も減っており、特に大型工事が少ない。売上利益は減少傾向にある。

## 不動産業

業況は、売上、収益の減少はあるものの、引き続きプラスを維持した。

今後の見通しとしては、売上、収益の減少により、業況は悪化を見込むが小幅のプラス水準を維持する見込み。

(事業者の声)

- ・販売用宅地の品薄感が続いている。
- ・アパート経営で入居率も安定推移、大きな変化は無い。
- ・メガソーラーや大型工場などの契約により、業況は好調である。
- ・海岸線沿いの物件は依然として動きが鈍く、販売価格の下降が見られる。
- ・アパートの家賃相場が下がっていて入居者確保に苦戦している。

### [お問い合わせ先]

(一社)静岡県信用金庫協会

電話：054-255-5530

資料 1

1. 業況(全業種)

	今回調査(2017年7~9月期)						前回調査(2017年4~6月期)					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
東部地区	3.6%	21.4%	42.5%	24.4%	8.1%	▲ 7.5	1.4%	15.2%	46.1%	28.2%	9.1%	▲ 20.7
中部地区	5.7%	24.7%	43.7%	21.5%	4.4%	4.4	5.4%	24.5%	37.4%	24.5%	8.2%	▲ 2.7
西部地区	4.1%	19.2%	52.5%	20.7%	3.4%	▲ 0.8	2.4%	20.3%	51.5%	21.2%	4.5%	▲ 3.0
県内合計	4.2%	20.6%	48.2%	22.0%	5.0%	▲ 2.1	2.5%	19.2%	48.1%	23.8%	6.4%	▲ 8.5

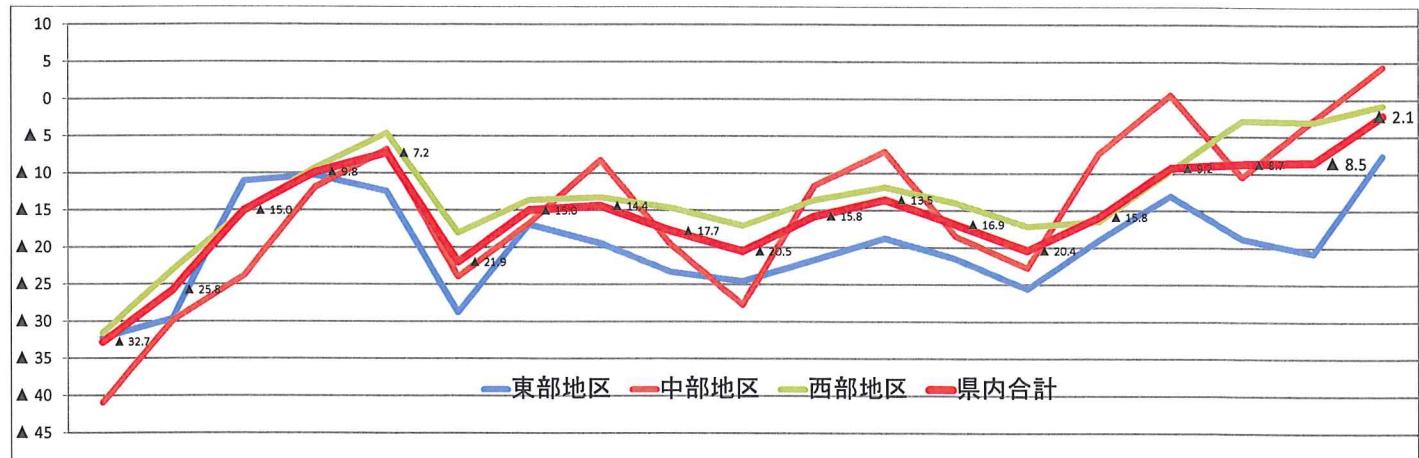
2. 業況予想(全業種)

	2017年10月~12月の業況予想					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
東部地区	3.6%	17.4%	51.0%	22.3%	5.8%	▲ 7.2
中部地区	5.1%	25.9%	43.7%	22.2%	3.2%	5.7
西部地区	3.2%	21.8%	52.6%	19.8%	2.5%	2.8
県内合計	3.6%	21.0%	50.9%	20.9%	3.6%	0.1

3. 業況(DI)の推移(全業種)

	2013年 1~3月期	2013年 4~6月期	2013年 7~9月期	2013年 10~12月期	2014年 1~3月期	2014年 4~6月期	2014年 7~9月期	2014年 10~12月期	2015年 1~3月期	2015年 4~6月期	2015年 7~9月期	2015年 10~12月期	2016年 1~3月期	2016年 4~6月期	2016年 7~9月期	2016年 10~12月期	2017年 1~3月期	2017年 4~6月期	2017年 7~9月期
東部地区	▲ 32.1	▲ 29.6	▲ 11.1	▲ 10.3	▲ 12.4	▲ 28.7	▲ 16.9	▲ 19.4	▲ 23.3	▲ 24.5	▲ 21.6	▲ 18.7	▲ 21.5	▲ 25.6	▲ 19.0	▲ 13.0	▲ 18.8	▲ 20.7	▲ 7.5
中部地区	▲ 40.9	▲ 29.9	▲ 23.8	▲ 11.9	▲ 6.8	▲ 23.9	▲ 16.8	▲ 8.2	▲ 19.6	▲ 27.7	▲ 11.6	▲ 7.0	▲ 18.4	▲ 22.7	▲ 7.3	0.6	▲ 10.4	▲ 2.7	4.4
西部地区	▲ 31.6	▲ 23.0	▲ 15.2	▲ 9.3	▲ 4.6	▲ 18.0	▲ 13.6	▲ 13.2	▲ 14.7	▲ 17.0	▲ 13.6	▲ 11.8	▲ 14.0	▲ 17.1	▲ 16.5	▲ 9.6	▲ 2.9	▲ 3.0	▲ 0.8
県内合計	▲ 32.7	▲ 25.8	▲ 15.0	▲ 9.8	▲ 7.2	▲ 21.9	▲ 15.0	▲ 14.4	▲ 17.7	▲ 20.5	▲ 15.8	▲ 13.5	▲ 16.9	▲ 20.4	▲ 15.8	▲ 9.2	▲ 8.7	▲ 8.5	▲ 2.1

県内合計及び地区別DIの推移(全産業)



資料 2

・業種別業況

1. 東部地区

	今回調査(2017年7~9月期)						前回調査(2017年4~6月期)					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
製造業	5.9%	23.8%	45.5%	18.8%	5.9%	5.0	2.0%	15.8%	52.5%	23.8%	5.9%	▲ 11.9
卸売業	0.0%	19.4%	45.2%	29.0%	6.5%	▲ 16.1	0.0%	25.8%	22.6%	51.6%	0.0%	▲ 25.8
小売業	1.2%	14.0%	34.9%	32.6%	17.4%	▲ 34.9	1.2%	11.6%	40.7%	29.1%	17.4%	▲ 33.7
サービス業	7.4%	22.2%	42.6%	24.1%	3.7%	1.9	1.9%	13.0%	38.9%	33.3%	13.0%	▲ 31.5
建設業	1.8%	26.8%	46.4%	19.6%	5.4%	3.6	0.0%	10.5%	61.4%	22.8%	5.3%	▲ 17.5
不動産業	3.1%	25.0%	43.8%	25.0%	3.1%	0.0	3.0%	24.2%	48.5%	18.2%	6.1%	3.0
全業種	3.6%	21.4%	42.5%	24.4%	8.1%	▲ 7.5	1.4%	15.2%	46.1%	28.2%	9.1%	▲ 20.7

2. 中部地区

	今回調査(2017年7~9月期)						前回調査(2017年4~6月期)					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
製造業	10.9%	20.3%	40.6%	25.0%	3.1%	3.1	8.5%	30.5%	33.9%	18.6%	8.5%	11.9
卸売業	0.0%	21.1%	31.6%	31.6%	15.8%	▲ 26.3	0.0%	28.6%	33.3%	28.6%	9.5%	▲ 9.5
小売業	0.0%	14.3%	61.9%	19.0%	4.8%	▲ 9.5	0.0%	20.0%	45.0%	20.0%	15.0%	▲ 15.0
サービス業	5.0%	25.0%	60.0%	10.0%	0.0%	20.0	0.0%	17.6%	52.9%	29.4%	0.0%	▲ 11.8
建設業	0.0%	45.8%	37.5%	12.5%	4.2%	29.2	0.0%	15.0%	35.0%	40.0%	10.0%	▲ 35.0
不動産業	10.0%	30.0%	30.0%	30.0%	0.0%	10.0	30.0%	20.0%	30.0%	20.0%	0.0%	30.0
全業種	5.7%	24.7%	43.7%	21.5%	4.4%	4.4	5.4%	24.5%	37.4%	24.5%	8.2%	▲ 2.7

3. 西部地区

	今回調査(2017年7~9月期)						前回調査(2017年4~6月期)					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
製造業	5.7%	20.8%	48.7%	20.8%	4.1%	1.6	3.1%	24.0%	48.9%	19.7%	4.3%	3.1
卸売業	1.3%	27.5%	43.8%	22.5%	5.0%	1.3	1.3%	16.3%	53.8%	20.0%	8.8%	▲ 11.3
小売業	2.8%	8.5%	46.5%	36.6%	5.6%	▲ 31.0	1.4%	13.9%	43.1%	33.3%	8.3%	▲ 26.4
サービス業	2.0%	12.2%	75.5%	10.2%	0.0%	4.1	0.0%	10.2%	73.5%	14.3%	2.0%	▲ 6.1
建設業	3.8%	17.5%	60.0%	17.5%	1.3%	2.5	1.3%	16.3%	52.5%	27.5%	2.5%	▲ 12.5
不動産業	3.8%	20.8%	64.2%	11.3%	0.0%	13.2	5.6%	27.8%	53.7%	13.0%	0.0%	20.4
全業種	4.1%	19.2%	52.5%	20.7%	3.4%	▲ 0.8	2.4%	20.3%	51.5%	21.2%	4.5%	▲ 3.0

4. 県内合計

	今回調査(2017年7~9月期)						前回調査(2017年4~6月期)					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
製造業	6.4%	21.3%	47.0%	20.9%	4.3%	2.5	3.5%	23.1%	47.8%	20.4%	5.2%	1.0
卸売業	0.8%	24.6%	42.3%	25.4%	6.9%	▲ 6.9	0.8%	20.5%	43.2%	28.8%	6.8%	▲ 14.4
小売業	1.7%	11.8%	42.7%	32.6%	11.2%	▲ 30.3	1.1%	13.5%	42.1%	29.8%	13.5%	▲ 28.7
サービス業	4.9%	18.7%	58.5%	16.3%	1.6%	5.7	0.8%	12.5%	55.0%	25.0%	6.7%	▲ 18.3
建設業	2.5%	25.0%	51.9%	17.5%	3.1%	6.9	0.6%	14.0%	53.5%	27.4%	4.5%	▲ 17.2
不動産業	4.2%	23.2%	53.7%	17.9%	1.1%	8.4	7.2%	25.8%	49.5%	15.5%	2.1%	15.5
全業種	4.2%	20.6%	48.2%	22.0%	5.0%	▲ 2.1	2.5%	19.2%	48.1%	23.8%	6.4%	▲ 8.5

### 資料 3

#### ・業種別予想

##### 1. 東部地区

	2017年10月～12月の業況予想					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
製造業	5.9%	26.7%	46.5%	18.8%	2.0%	11.9
卸売業	0.0%	16.1%	61.3%	16.1%	6.5%	▲ 6.5
小売業	0.0%	12.8%	48.8%	30.2%	8.1%	▲ 25.6
サービス業	3.7%	7.4%	61.1%	22.2%	5.6%	▲ 16.7
建設業	3.6%	17.9%	55.4%	19.6%	3.6%	▲ 1.8
不動産業	8.6%	17.1%	37.1%	22.9%	14.3%	▲ 11.4
全業種	3.6%	17.4%	51.0%	22.3%	5.8%	▲ 7.2

##### 2. 中部地区

	2017年10月～12月の業況予想					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
製造業	6.3%	28.1%	42.2%	20.3%	3.1%	10.9
卸売業	5.3%	5.3%	36.8%	47.4%	5.3%	▲ 42.1
小売業	0.0%	33.3%	42.9%	19.0%	4.8%	9.5
サービス業	5.0%	25.0%	45.0%	25.0%	0.0%	5.0
建設業	4.2%	29.2%	50.0%	12.5%	4.2%	16.7
不動産業	10.0%	30.0%	50.0%	10.0%	0.0%	30.0
全業種	5.1%	25.9%	43.7%	22.2%	3.2%	5.7

##### 3. 西部地区

	2017年10月～12月の業況予想					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
製造業	3.8%	27.1%	47.0%	19.9%	2.2%	8.8
卸売業	1.3%	23.8%	47.5%	23.8%	3.8%	▲ 2.5
小売業	2.8%	12.7%	46.5%	33.8%	4.2%	▲ 22.5
サービス業	2.0%	12.2%	77.6%	4.1%	4.1%	6.1
建設業	3.8%	20.0%	57.5%	17.5%	1.3%	5.0
不動産業	3.8%	11.3%	71.7%	13.2%	0.0%	1.9
全業種	3.2%	21.8%	52.6%	19.8%	2.5%	2.8

##### 4. 県内合計

	2017年10月～12月の業況予想					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
製造業	4.6%	27.2%	46.3%	19.7%	2.3%	9.8
卸売業	1.5%	19.2%	49.2%	25.4%	4.6%	▲ 9.2
小売業	1.1%	15.2%	47.2%	30.3%	6.2%	▲ 20.2
サービス業	3.3%	12.2%	65.0%	15.4%	4.1%	▲ 4.1
建設業	3.8%	20.6%	55.6%	17.5%	2.5%	4.4
不動産業	6.1%	15.3%	57.1%	16.3%	5.1%	0.0
全業種	3.6%	21.0%	50.9%	20.9%	3.6%	0.1